

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	（れいほくによど） 嶺北仁淀森林計画区 （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、高知県の中央部に位置し、四国山地の主軸を成す石鎚、剣山の二大山脈に沿って、瓶ヶ森、稲叢山、佐々連尾山、高山等の山系に分布する191千haを対象とし、国有林野面積は27千haとなっている。</p> <p>当計画区は、年平均気温13.7℃、平均年間降水量は2,245mmと林木の生育に適した気候条件下にあり、スギを中心とした植林が行われており、人工林率は69%となっている。このため間伐の推進、木材利用の推進等、持続可能な森林経営による地域振興、とりわけ人工林資源の充実を背景に良質な木材供給を行うことが期待される計画区である。</p> <p>一方、瓶ヶ森、寒風山、白髪山等に分布している天然林は、多様な樹種、林相からなる自然美に優れ、自然休養林等のレクリエーションの森等に指定されているほか、貴重な野生動植物の広域化や相互交流に資する等、生物多様性保全のための「四国山地緑の回廊」石鎚山地区、剣山地区にも指定されている。</p> <p>これらのことから、当計画区において、国土の保全、水源のかん養に加え、自然環境の保全、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等公益的機能の発揮に関する地域の要請は高くなっている。</p> <p>当事業は、これらの要請に応えるため、植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業、及び林道新設等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な森林整備を実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">213 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">1,699 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">9.70 Km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	213 ha			保育面積	1,699 ha		路網整備	開設延長	9.70 Km
主な事業内容	森林整備	更新面積	213 ha												
		保育面積	1,699 ha												
	路網整備	開設延長	9.70 Km												
費用対効果分析	総 便 益 (B)	2,949,148 千円													
	総 費 用 (C)	1,381,839 千円													
	分析結果 (B/C)	2.13													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化の防止対策、生物多様性の保全、国土の保全、水源かん養等の森林の有する多面的機能の発揮が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備の実施により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 四国森林管理局

事業実施地区名: 嶺北仁淀森林計画区(高知県)

嶺北森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	582,591	
	流域貯水便益	205,393	
	水質浄化便益	274,684	
山地保全便益	土砂流出防止便益	329,015	
環境保全便益	炭素固定便益	170,502	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	96,234	
	木材利用増進便益	34,749	
	木材生産確保・増進便益	451,592	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	669,821	
	治山経費縮減便益	118,259	
	森林管理等経費縮減便益	16,308	
総便益(B)		2,949,148	
総費用(C)		1,381,839	
費用便益比		2.13	